



歯学部創立50年を迎えて

歯学部長 前田 健康

新潟大学歯学部は昭和40年4月に日本海側唯一の国立大学歯学部として設置されました。昭和42年6月1日には歯学部附属病院が、昭和47年4月1日には大学院歯学研究科が設置されました。この間、歯学部校舎の竣工（昭和48年3月）、講座増設（口腔外科学第二講座〔昭和48年〕、小児歯科学講座〔昭和54年〕、歯科放射線学講座〔昭和55年〕、加齢歯科学講座〔平成9年〕）、大学院医歯学総合研究科の設置（平成13年）、医歯学総合病院の設置（平成15年）、口腔生命福祉学科の設置（平成16年）、口腔生命福祉学専攻の設置（平成20年）を経て、この度、設立50年を迎えました。設置以来、歯学部では「学士課程教育を歯科医療従事者としての生涯学習の最初の段階と位置づけ、問題解決能力の育成を重視し、その後続く大学院や実社会での学習のなかで専門性を主体的に向上させうる人材を養成する」という基本方針のもと、地域で活躍する人間性豊かな歯科医師をはじめとした高度専門職業人の養成、最先端の歯科医学・医療の研究開発とその臨床応用などを通じ、環日本海における歯科医学・口腔保健医療福祉をリードする拠点として、輝かしい実績を残してきました。

歯学部設置当時は歯科医師不足が叫ばれ、歯科外来ではむし歯の洪水で、地域歯科医療で即戦力として活躍できる人材養成が求められていたようです。しかし、高度成長時代の終わりとともに社会情勢は大きく変わり、歯学部設置前の昭和35年には男性65.32歳、女性70.19歳だった平均寿命が平成25年にはそれぞれ80.50歳、86.83歳となり、我が国は超高齢社会となっています。また平成25年の高齢化率は25.1%（男性22.1%、女性27.8%）となり、平成72年には39.9%に達し、2.5人に1人

が65歳以上になるとの推計も出されています。従って、今までの歯科医療も健常者型から高齢者型への転換が求められ、健康寿命の延伸が国家政策となっており、社会が新潟大学歯学部を求めるものは大きく変わってきています。

この超高齢社会の到来を見すえ、新潟大学歯学部では全国に先駆け、加齢歯科学講座（現 摂食嚥下リハビリテーション学分野）を設置し、さらに平成16年に超高齢社会を迎えるなかで必要性が高まっている「食べる」ことや口腔機能の維持向上という視点から保健・医療・福祉を総合的にマネジメントできる専門家を養成することを目的とした4年制の口腔生命福祉学科を設置しました。設置の理念として、歯学科は「歯学専門領域における学理と技術を深く究めるとともに、医学・歯学の学際的知識を有し、全人的医療を行うことのできる有能かつ感性豊かな歯科医師の育成、歯科医学発展のために指導的な人材および地域歯科医療に貢献する専門職業人の育成」を、口腔生命福祉学科は「指導的専門職業人として、保健・医療・福祉に関する深い理解と専門知識に基づき、これらを総合的に思考・展開できる人材の育成」を掲げています。これら2つの学科をもつ新潟大学歯学部では、むし歯や歯周病の治療、抜歯、義歯治療にとどまらず、口腔や食べるといったQOL（Quality of Life；生活の質）の向上の観点から、“すべての人の健康と質の高い生活を実現する”志をもつ口腔保健・医療人を養成し、社会に貢献できる人材の提供を目指しています。

昭和47年4月1日に設置された大学院歯学研究科は数々の優れた研究実績の創出、人材育成を行ってきましたが、平成13年4月には大学院医学研究科とともに、生命科学や技術の著しい進歩、

21世紀の医療課題と多様化する社会的ニーズに対応するため、先端的生命科学・医学についての教育と研究に重点を置くとともに、その成果を医療の進展に還元する探索型医療研究を推進し、地域社会と世界の医療に貢献できる最先端医学研究・教育者や高度専門職業人の育成を目的とする大学院医歯学総合研究科を設置しました。この研究科では歯学系は博士課程の口腔生命科学専攻を、また口腔生命福祉学専攻博士前・後期課程を開設しています。

平成24年4月に医歯学総合病院新外来診療棟が竣工し、同11月に歯科外来が移転・開院、平成27年9月には総合研究棟（歯学系）の大型改修工事が竣工して、教育研究環境の整備を無事終了することができました。快適な環境で、教育・研究・診療が行えるようになりました。

半世紀にわたる新潟大学歯学部の歴史は関係各位、教職員等さまざまな方々のご尽力によるものであるとともに、「伝統は革新の連続である」の言葉で表現できるように、諸先輩方のたゆまぬ努力の元に立脚していると考えております。

新潟大学歯学部は超高齢社会での歯学を見え、教育、研究、診療、社会貢献に邁進して参ります。これまで新潟大学歯学部の発展に貢献された方々に深く感謝申し上げますとともに、これまで以上の変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い致します。

新潟大学歯学部は超高齢社会での歯学を見え、教育、研究、診療、社会貢献に邁進して参ります。これまで新潟大学歯学部の発展に貢献された方々に深く感謝申し上げますとともに、これまで以上の変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い致します。



歯学部長室



講堂



歯科行動科学相互実習室



臨床基礎技能実習室